

# ツヤハマベエンマムシ

## コウチュウ目エンマムシ科

*Eopachylopus ripae* (Lewis)

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

### 選定理由

海浜性エンマムシ類の中では個体数が少ないため、護岸工事などの開発行為による影響を受けやすく、個体数の減少が危惧される。

### 形態

体長2.0~3.0mm。体全体が黒色のものと、上翅に赤紋をもつものがある。脛節が長くて頑丈な棘に覆われていて、他の海浜性エンマムシ類との区別は容易である。

### 国内分布

北海道から南西諸島まで広く分布している。

### 県内分布

文献上は白山市（旧美川町）、小松市、能美市（旧根上町）、金沢市、内灘町および志賀町からの記録がある。その他、加賀市片野海岸と羽咋市一の宮海岸で採集確認している。

### 生態

成虫は4月から9月頃まで見られる。海岸に打ち上げられた魚の死がいなど、動物性の腐敗物に集まる。

### 生息地の条件

良好な砂浜のある海岸であることが重要で、砂利の多い海岸には生息しない。

### 生存の危機

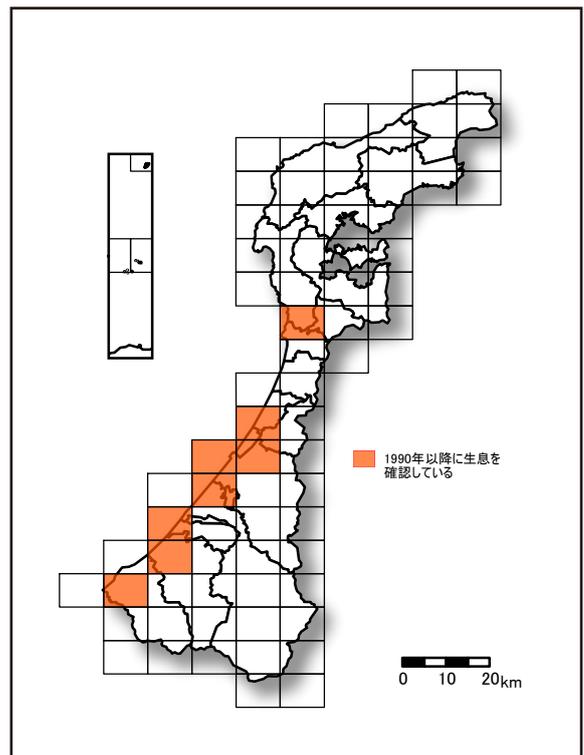
護岸工事などの開発による砂浜の改変は、本種の生存に大きな影響を与える。(A)

### 参考文献

大原昌宏 1998. 日本産エンマムシ上科概説Ⅹ. 甲虫ニュース, (122) : 1-3.  
大原昌宏 2004. 海浜性エンマムシ. 昆虫と自然, 39 (12) : 12-15.



標本提供者: 吉道俊一



県内の分布